

The background of the entire page is a vibrant yellow. It is covered with a dense pattern of colorful zigzag lines in various colors including red, green, blue, orange, and purple. In the center of the page, there is a large, stylized letter 'M' that is composed of multiple overlapping, slightly offset lines in the same color palette, creating a 3D or layered effect.

同窓会報メールマガジン

機 巢 第 24 号

岐阜工業高等専門学校 機械工学科 機巢会

岐阜高専機械工学科 機関誌 『機巢』 2022年 NO. 24

目次

P-2	目次 & 会長挨拶		
P-3	総会の報告	飯沼義徳	(機巢会会長)
P-14	機械工学科の現状について	山田 実	(24期生)
P-15	OB 紹介シリーズ 株式会社 茶所鉄工所	堀 博	(4期生)
P-18	中国で30年 退職して・・・帰国して	西村 省三	(7期生)
P-21	我が家の菜園	本荘 昱	(1期生)
P-23	編集後記		

会長挨拶

飯沼義徳 7期生

厳しい暑さが続いています。皆様におかれてはつつがなくお過ごし
の事と拝察いたします。

最近、私は四季の有難さを思います。近年の日本の天候はまるで亜
熱帯のように酷暑で、時にスコールのように局地的な豪雨になります。
熱中症や自然災害が増大しています。蒸し暑い梅雨、酷暑（体温を超
える気温）・・・とても辛いです。そのような中ですが私は四季のあ
る日本の天候が好きです。季節の美しい草花、里山の景色、秋の夕陽、
純白の雪景色・・・。自然の美しさに感動します。日本に生まれてよ
かったなあと感じます。自然の美しさ以上に有難いことは、過去を振
り返った時に季節の変化があることでしっかりと思い出すことができ
ることです。3年前のあの大雪の時に・・・とかです。常夏の国に住んでいるとそうはいきません。
毎日が夏ですから何年前？ということになります。厳しい夏を元気に過ごすコツとして、涼しい秋、
寒さの冬を想いながら過ごすのは如何でしょうか。



5月の定期総会を経て、新体制、行事計画の承認をいただき感謝申し上げます。懸案の機巢会設
立40周年記念祝賀会を年度内に開催したいと思います。開催の時期、内容については慎重に検討
する必要がありますが、新型コロナウイルス感染症が落ち着き、会員の皆様と一堂に会してお祝いできるこ
とを心から祈念しています。記念行事開催を機会に機巢会のさらなる活性化につなげたいと考えて
います。

中期的な課題は、機巢会（メルマガ）登録者を増やすことです。先の定期総会を通して、より多
くの会員の皆様に参加していただくことが現在の一番の課題であると認識しました。皆様の同窓生、
勤め先の先輩、後輩、お取引先、地域の先輩、後輩に機巢会の活動を紹介いただければ幸甚です。
皆様から機巢会ホームページを紹介していただき、「メールマガジン配信登録」の呼びかけをお願
いいたします。機巢会ホームページにて【OB・OGメルマガ登録】をクリックしていただければ
容易に登録できます。今後とも、皆様のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

2022年5月21日

機巢会会員各位

機巢会会長
飯沼義徳

2022 年度定期総会議案書に対するご意見への回答

Web 定期総会の運営にご協力をいただき感謝申し上げます。昨年度の反省から手順などを改善いたしました。が、まだ不十分であることを認識し今後も改善の継続をしてまいります。議案書の中で前年度繰越金を記載していないのはWeb上で開示することによって本会及び関係者に対し善からぬことが起きることを危惧しての事でございますことをご理解いただければ幸甚です。議案について賛成いただきましたこと及び率直なご指摘、温かい激励に心より感謝申し上げます。いただきました貴重なご意見、ご要望に対し以下の通り回答申し上げます。尚、会員数に対して案内メール配信数（メルマガ登録者）、投票数が少ないことは役員としての力不足であり誠に申し訳ございません。今後の課題とさせていただきます。今後とも新体制での運営にご支援をお願い申し上げます。

定期総会案内メール配信数（メルマガ登録者）：324

投票数：30

第1号議案 2021 年度活動報告

承認 30, 否認 0

- (1) 【ご意見】機巢会活動」の「②役員会」記載事項「メール役員会」の開催日時を訂正してください。誤：2022年4月18日～31日 ⇒ 正：2022年4月18日～30日

【回答】ご指摘ありがとうございます。訂正いたします。

第2号議案 2021 年度決算報告及び監査報告

承認 28, 否認 2

- (1) 【ご意見】収入の部の前年度からの繰越金額が分かりません。

【回答】WEB上に公開することにより善からぬことが起きることを危惧して明記しませんでした。個人的にご報告いたします。

- (2) 【ご意見】末尾「②メルマガ編集補助金（2021年度）」を40,000円支払い予定としていますが、2021年度は3回の発行なので、30,000円に訂正すべきで

す。2016年の発行開始時から編集委員の人数に関係なく「1回発行につき10,000円」の取り決めです。

【回答】2022年度に受領予定の2021年度メルマガ編集補助金は全額「受領⇒返金」として処理いたします（計上無し）。

メルマガ編集補助金は年度内に収入、支出が完結できるようにするため、2022年度から年度初めに仮払い（¥40,000）し、年度末に残金を会計に返金いたします。（不足の場合は請求する）

用途は日当、交通費、慰労会費等。（★役員会 新規取決め）

- （3） 【ご意見】支出項目「事務費」の備考欄「②③④⑤」がどの支出項目と紐付くかを明記してください。

【回答】②メルマガシステム料 ③Web サイトランニング費用 ④Web サイトリニューアル費用 ⑤河村先生叙勲祝い ⇒2021年度決算報告に明記します。

- （4） 【ご意見】支出項目「公開講座2回目(10/31)補助」および「オープンキャンパス(8/6)補助」が第1号議案の機巢会活動報告に示した開催日と合っていない。その理由を教えてください。

【回答】公開講座2回目開催日は10月10日が延期となり10月31日でしたので活動報告を訂正します。

オープンキャンパスの補助費用は開催日の前日（8月6日）に準備しました。

第3号議案 2022年度活動計画

承認 30, 否認 0

- （1） 【ご意見】2022年度は新型コロナウイルスに翻弄されることなく計画通り進行できることを期待します。

【回答】環境の変化、行政の指示、指導等に従って、弾力的に対応いたします。

第4号議案 2022年度予算

承認 30, 否認 0

- （1） 【ご意見】前年度からの繰越金額が分かりません。

【回答】WEB上に公開することにより善からぬことが起きることを危惧して明記しませんでした。個人的にご報告いたします。

- (2) 【ご意見】否認は致しませんが、仮に 40 周年記念行事を行う場合、単年度では大幅赤字が見込まれますが、この補填方法の説明が必要と思います。積立金からの補填をされるのなら積立金が幾らあるのか明示していただければと思います。

【回答】前年度繰越金から補填いたします。繰越金を WEB 上に公開することにより善からぬことが起きることを危惧して明記しませんでした。個人的にご報告いたします。

第 5 号議案 2022 年度役員

承認 30, 否認 0

- (1) 【ご意見】徐々に世代交代が進んでいるように感じました。期待しています。

【回答】ありがとうございます。引続きご支援をお願いいたします。

その他のご意見, ご要望

- (1) 【ご意見】議決にあたっては、出席数、賛成数を明記した上で、規約と照合した結果を示してください。

【回答】本文中に明記いたしました。

- (2) 【ご意見】議案に対する意見を受けた場合は、自らが設定した期限内にホームページ上に回答すると共に、意見を提出した者へ個別にメール等で知らせる配慮を希望します。私の記憶では、前年度は回答期限が守られなかったにもかかわらず、配慮も無かった。

【回答】承知しました。

- (3) 【ご意見】第 2 項で、卒業年度には凡例を示す方が良いと思う。私は 1973 年 3 月卒業で、卒業年度は 1972 年度だと解釈していますが、同期生の中には うっかり 1973 年度卒だと回答する者がいるような気がします。西暦の入力の例が示されていますが、もしかして、下 2 桁ではなく 4 桁記入せよという意味でしょうか？そんな配慮が必要と思われたなら、卒業年度についても気にして欲しかった。

【回答】次回、改善いたします。

(案) 卒業〇〇年 3 月、入学△△年 4 月

- (4) 【ご意見】 私がメルマガ編集委員を担当しておりました 2019～20 年度に、会計担当からメルマガ発行に伴う補助金として 80,000 円 (40,000 円×2 年分(8 回発行))を編集委員長が受けとられました。いままで補助金は編集委員の慰労会に使用しておりましたが、コロナウィルスまん延の影響で会の開催は出来ませんでした。その後、編集委員の入れ替えがあり、2019～20 年度のメンバーによる慰労会が開催できる状況にありません。つまり「80,000 円が未使用」のままです。無論、2021 年度以降のメンバーの慰労会に使用できるものではありません。

そこで提案ですが、使用出来ないままの補助金を機巢会会計に返還する事を提案します。この件は 2020 年度に私が退任する時に編集委員の皆様には返還すべきと提案しましたが、時間がなく議論はうやむやになっています。

毎年、赤字の決算が続いている状態で使用出来ないままのお金があるならば有効活用すべきと思います。

メルマガ編集委員会および役員会での議論、そして回答をお願いします。

【回答】メルマガ編集委員を含む役員にて検討しました。メルマガ編集補助金の残金(¥79,039)は会計に返金といたします。2022 年度予算の収入に「メルマガ編集補助金の残金返還」として計上いたします。

残金額詳細：

¥80,000(2021 年 3 月 15 日受領)+¥8,759(それ以前の残金)-¥9,720(2021 年度慰労会)=¥79,039 (★★役員会承認事項)

- (5) 【ご意見】 役員の皆様のご尽力に感謝いたします。

【回答】ありがとうございます。引続きご支援をお願いいたします。

- (6) 【ご意見】 オンライン活用で効率化が進んでいると感心しています。

【回答】ありがとうございます。引続きご支援をお願いいたします。

- (7) 【ご意見】 いつも運営等おつかれさまです。OBOG として、できることは実行させていただきます。

【回答】ありがとうございます。引続きご支援をお願いいたします。

- (8) 【ご意見】 会長をはじめとして役員の皆様には、お世話になります。今後とも宜しくお願い致します。

【回答】ありがとうございます。引続きご支援をお願いいたします。

(9) 【ご意見】役員皆様、お疲れ様です。HP の改訂など従来以上に開かれた機巢会になった感があります。皆様ご努力に感謝します。新役員の方も含め、これからもよろしくお願いします。

【回答】ありがとうございます。引続きご支援をお願いいたします。

機巢会会則第 11 条 3 項に従い承認可決いたします。ありがとうございました。

(参考)

第 11 条 3 項

会議の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。ただし、会則の変更に関しては総会において出席会員の 3 分の 2 以上の同意を必要とする。

第1号議案

2021年度機巢会活動報告

1. 機巢会活動

①総会

日時：2021年5月

場所：Web総会

内容：

- 1) 2019年度及び2020年度の活動報告、決算報告承認
- 2) 2021年度活動計画、予算の承認
- 3) 役員改選

②役員会

日時：2021年9月16日

場所：（有）コア・コーポレーション事務所

議題：ホームページのメンテナンス

内容：

- 1) OBコミュニティーの改善等
- 2) 10月末を目途に完成する

日時：2022年1月15日

場所：屋台すし

議題：定期総会に向けた検討

内容：

- 1) 2022年度機巢会定期総会について
- 2) 機巢会2022年度役員候補
- 3) 若鮎会2022年度役員候補

日時：2022年4月18日～30日

場所：メール役員会

議題：定期総会議案書の作成、確認

内容：

- 1) 2021年度活動報告、決算報告
- 2) 2022年度活動計画、予算
- 3) 2022年度役員

③機関誌「機巢」（メールマガジン）

2021年 7月 7日 Vol. 21発行

2021年10月18日 Vol. 22発行

2021年 3月11日 Vol. 23発行

④在学生に対する支援活動

技術士一次試験補助を実施

2. 若鮎会における活動

＜若鮎会役員＞

会長 1名 (中野廣幸)
理事 2名 (飯沼義徳、犬飼宏好)
事務局長 1名 (石丸和博)

①若鮎会役員会

コロナウィルス感染症拡大防止のため、活動実績が少なく、前期中間報告は省略。
2022年5月22日（日）に前期、後期を合わせて実施予定

②若鮎会公開講座

コロナウィルス感染症拡大防止のため、活動休止

③「若鮎の並木」保存会

日時：2022年3月26日（土）
場所：「若鮎の並木」記念碑前集合
全15名参加（M科参加者6名）
「若鮎の並木」草引き

④若鮎会連携事業室

中核人材育成塾 特別講演
『アフターコロナはこれでJUMP UP』
スマートシンキングとIoTの堅実実装
日時：2021年12月14日（木）
場所：岐阜大学サテライトキャンパス
講師：西村 栄昭氏（E科卒）
会場聴講20名、Zoomにより中継

3. 岐阜高専に対する協力

①岐阜高専地域連携協力会

・総会
日時：2022年2月3日（木）
場所：書面決議
議題：1）役員の選出について
2）2021年度活動報告及び決算報告について
3）2022年度活動計画及び予算について
・中核人材育成塾に講師派遣

4. 岐阜高専機械工学科に対する補助

① 公開講座「きのくにロボットコンテスト」（8月8日、10月31日）

② オープンキャンパス（8月7日～8日）

5. 故河村名誉教授叙勲お祝い

瑞宝小綬章の叙勲受章を祝して、2021年9月6日（月）に勲記勲章額を贈呈。

第 2 号議案

2021 年度 機巢会決算報告

収入

項目	金額	備考
郵便局利子	86	
2 年度会費	390,000	39 人分
大垣共立定期利子	7	
大垣共立普通利子	2	
合計	390,095	

支出

項目	金額	備考
役員会会議費(1/15)	25,526	
メルマガのシステムサービス料(2/22)半年分	13,200	②アイコミュニケーション
Web サイトランニング費用(2/2)	13,000	③ネクステージ
Web サイトリニューアル費用(11/9)	60,000	④ネクステージ
河村先生叙勲祝い（叙勲額）(9/6)	79,750	
メルマガ取材費（2021 年度分）	9,945	
事務費	1,867	振込手数料 440（②分） +110（③分）+330（④分） +417（⑤分）+ 郵便料 570（技術士試験）
2021 年度技術士一次試験補助	63,000	祝 6,000×4+奨 3000×13
2020 年度未払い分(機械設計技術者試験)	116,000	祝 4,000×23+奨 2,000×12
公開講座 1 回目(8/8)補助	8,288	
公開講座 2 回目(10/31)補助	7,118	
オープンキャンパス(8/6)補助	740	
合計	398,434	

390,095 円 (収入) - 398,434 円 (支出) = -8,339 円 (赤字分は繰越金より補填)

※①機械設計技術者試験 116,000 円 (2020 年未払い分→2021 年度予算にて支払い)

(例年合格発表の関係から毎年次年度に支払い)

②卒業生 1 名未払い 10,000 円 (催促中)

上記の通り、収支報告いたします。

令和 4 年 4 月 1 9 日

機巢会会計 石丸和博

第3号議案

2022年度 機巢会活動計画（案）

機巢会は会員相互の親睦と向上を図り、岐阜高専機械工学科の発展に資することを目的として以下の活動を行う。

1. 機巢会活動

①総会

時期：5月

形式：コロナウィルス感染症拡大防止のためWeb総会

内容：

- 1) 2021年度活動報告
- 2) 2021年度決算報告
- 3) 2021年度会計監査報告
- 4) 2022年度活動計画
- 5) 2022年度予算
- 6) 2022年度役員

②役員会

総会の前、および随時行う。

③機関誌「機巢」メールマガジン

年4回の発行を基本とする。

④在学生に対する支援活動

- 1) 高専祭助成・学生活動支援
- 2) 留学支援
- 3) 資格取得支援

⑤クラス同窓会補助

クラス同窓会開催に対する補助

2. 機巢会40周年記念行事の実施

2021年度に開催できなかった機巢会40周年記念行事を実施する。
コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、開催時期については流動的。

3. 岐阜高専機械工学科に対する補助

オープンキャンパス、機械工学科公開講座等への補助

4. 若鮎会における活動

若鮎会活動に対し、役員を選出し各種行事に協力する。

5. 岐阜高専に対する協力

岐阜高専地域連携協力会の中核人材育成塾に講師を派遣する。

第4号議案

2022年度予算

収入の部

	費 目	金 額	備 考
	2022年度会費	350,000	
	メルマガ編集補助金の残金返金	79,039	
	合計	429,039	

支出の部

	費 目	金 額	備 考
会議費	総会費	500,000	40年記念行事を含む
	役員会費	50,000	前年度予算同額
各種補助	同窓会補助	100,000	同上
	高専祭助成	50,000	同上
	留学支援	200,000	同上
	機械設計技術者試験支援	160,000	同上
	機械工学科公開講座補助	20,000	同上
	広報費	150,000	同上
	事務費	10,000	同上
予備費		45,000	前年度予算同額
支出合計		1,285,000	前年度予算同額

5号議案

2022年度役員

役職名	氏名	卒業期	備考
会長	飯沼 義徳	7期	
副会長	山田 実	24期	機関誌編集委員 兼 ホームページ編集委員 岐阜高専勤務
副会長	—	—	空席
会計	石丸 和博	18期	事務局・岐阜高専勤務
会計	—	—	空席
会計監査	森 清高	2期	
会計監査	中野 廣幸	4期	
理事	青木 健	3期	
理事	太田 哲也	6期	機関誌編集委員長 兼 ホームページ編集委員長
理事	若井政伯	9期	新任、機関誌編集委員
理事	中尾 賢治	15期	機関誌編集委員 兼 ホームページ編集委員
理事	伊藤 友裕	33期	
理事	小林光希	52期	新任、機関誌編集委員
事務局長	山本 高久	28期	岐阜高専勤務
顧問	桑原 喜代和	1期	
顧問	三口 栄一	1期	
顧問	岩井 静克	2期	
顧問	長谷川 実	2期	

機械工学科の現状について

機械工学科 山田実

今年の3月には留学生1名を含む41名が機械工学科を卒業しました。就職は19名、進学は22名でした。

【就職先】

旭化成、エーザイ、LIXIL、東京製鐵、エヌテック、オークマ、ファナック、浜松ホトニクス、パナソニックシステムソリューションズ、豊田合成、岩谷瓦斯、日本特殊陶業、中部国際空港施設サービス、JR 東海、JR 貨物、岐阜大学技術職員

【進学先】

千葉大学、新潟大学、金沢大学、福井大学、岐阜大学、名古屋大学、豊橋技術科学大学、三重大学、九州大学、岐阜高専専攻科、ヒューマンアカデミーマンガイラストカレッジ

今年度の入学試験では機械工学科へは推薦志願者14名、学力志願者39名でした。そのため定員に対する入試倍率は1.33倍でした。昨年度よりは向上しました。

4月に今井伸哉先生が着任されました。挨拶の文章をいただきましたので、下記に掲載します。

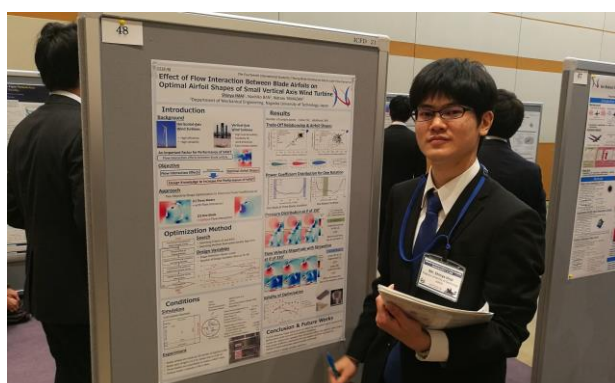
【新任職員からのご挨拶】

2022 年 4 月に機械工学科の助教として着任した今井伸哉と申します。私はこの岐阜高専機械工学科を2015 年 3 月に卒業した卒業生でもあります。岐阜高専を卒業した後に、大学・大学院と進学して、岐阜高専に教員として戻って来しました。現在は、材料学の実験科目を担当しており、将来的には機械設計分野の科目を担当する予定です。

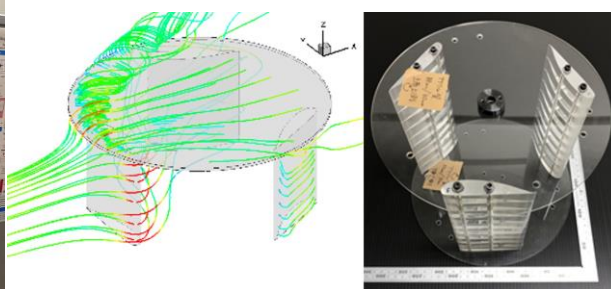
研究活動では、最適設計技術について研究しております。高専在学時は片峯先生のご指導の下で形状最適設計に取り組み、大学・大学院でも最適設計の研究を行ってきました。現在は、代替モデルを使った大域的な最適設計技術を使って、小型垂直軸型風車の形状最適設計について研究しております。学校運営の面では、寮務委員として主に D 寮の指導を担当しております。他の寮務委員の先生方と協力しながら、安全な寮運営に取り組んで参ります。

課外活動では、高専在学時は水泳部に所属していました。専門種目は平泳ぎでしたが、バタフライなど他の種目で大会に出たこともあります。一方で現在は、バレーボール部の顧問を務めております。競技規則を勉強しつつ、学生が充実した部活動が行えるようにサポートをしていきたいと思ひます。

高専在学時にお世話になった先生方には、現在は同僚としてご助力いただいております。教職員皆様のお力添えの下、岐阜高専の更なる発展の一助となるように精進して参りたいと思ひます。



2018 年に参加した国際会議



小型垂直軸型風車の例

OB紹介シリーズ

地域で活躍する同窓生

株式会社 茶所鉄工所 工場長 堀 博 (4期生)

本シリーズ投稿のために機巢会役員らに声を掛け、OB 訪問を行ってきたが、上下の繋がりにも限界があり人選に困っていた。しかし偶然、筆者勤務先の取引先に 4 期生の堀博さんが在籍され、現役でご活躍していらっしゃる事が分かった。今回、会社休業日にも係わらず、堀さんが会社訪問に応じていただいたので、岐南町の会社に向った。堀さんは、ご両親が創業された金属加工会社に大学院修了後から入社され、4 代目(甥っ子様)になられても、工場長として会社を取り仕切っておられる社長の右腕である。

一家業の会社に入った道のりは？

私は昭和 46 年卒業の 41M になりますが、卒業後 1 年間、大学進学のために河合塾(名古屋)で浪人生活を送りました。同級生には、大学進学者が多かったですね。機械科にももう一人、電気科では高専の教授になった人、医者になった人など。進学先は立命館大学電気工学科で 1 年生から入学しました。4 年後に卒業、その後、大学院修士課程に進みましたが、学費を親に出してもらっていた関係上、条件付の学生生活でした。週に 2 日、木曜、金曜は大学院、月曜から水曜までは家業の仕事をするということで、妥協してようやく両親の許可が出ました。学部 4 年と大学院では電気分野の研究をやりたいかったので、インバーター関係の研究をやっておりました。大学院修了後もずっと研究をやりたいのですが運命には逆らえませんでした。母親がとにかく戻ってこい、ということで戻ってきたという訳です。

ちなみに、茶所鉄工所は、創業者は父親、2 代目は母親、3 代目は兄、4 代目(現社長)が甥っ子というように、同族経営の会社です。



工場の前に立つ堀さん



堀さんが最初に導入した森精機製 NC 旋盤

一会社に戻ってきてから感じたこと

3、4 年は修行時代だったですね、そのあとは若かったけど工場長を任された。20 人くらいの人事管理をやっておりました。ちょうど NC 機械の導入期でもありましたのでその立上げをやりました。立ち上げに際しては、今まで経験と勘(自分の腕一本)でやってこられた職人さんとの葛藤がありましたね。いくら

腕が良くても量産物では機械の精度、速度には勝てません。いろいろ文句を言われたけど幸いにも会社を辞めた人はいなかったです。

茶所鉄工所は典型的な町工場だったので、生産スケジュールというものを立てていなかった。そこで生産工程表（ガントチャート）を作成して導入しました。しかし、ここでもベテラン従業員が不満をぶつけてきます。

「工場長、そんな細かい事をやっても仕方ないだろ。」

と。こうした状況をまとめる人がいない。父親（初代社長）が病気がちで、母親が2代目を継いだのですが、こまかい技術は分からないのでその辺りは期待されておりました。

それからしばらくして、工業高校を卒業して名古屋の機械会社で修業していた兄が戻ってきて、社長を継ぎました。

－会社がつぶれる、資金ショートのような危機に陥ったことは？

次の4つですね、よく覚えていますよ。

- ・オイルショック、
- ・円高不況
- ・バブル崩壊
- ・リーマンショック

特にリーマンの時は、大口取引先の専務からは、「3年はダメだな」と言われた。

取引先も売上げを上げるために必死。〇〇祭り（〇〇は製品名称）というのが、取引先期末の8月20日までにあった。24時間操業体制で、お盆期間の5日間くらい加工を徹夜で続ける。その時だけは取引先からも応援が来ていたことを思い出します。

茶所鉄工所の大口取引先である（株）ナベヤと（株）岡本は、企業体質が幸いにもしっかりしていて外注さんの面倒見はよかったと感じています。お陰様で70年近く仕事させてもらっています。

こういった環境でしたので、不況期は赤字でも我慢しましたよ。企業体質もよくなっていたし、従業員の解雇をすることも無く持ちこたえました。

－今の会社に欲しいものは？

どこの町工場でも同じだと思いますが、やはり人材かな。社長の右腕となってくれる人がほしい。

しかし自分の時（戻ってきて宿命を受け入れた時）もそうだったが、町工場は家族じゃないと運命を共にできないのかも。現場では作業員は作業に専念するので、会社幹部への登用、育成など次の成長は難しいところがあります。

次に資金ですが、これはどこでも同じでしょう。当社も今では黒字体質になって、随分と楽になりました。

－高専時代の思い出話や役に立ったことは？

クラブで卓球をやっていたことが、健康に役に立っています。今でも岐南町体育館でグループを

作ってやっています。

それから、4 年生からの寮生活。上級生なので、いびられることもない。クラブ活動で遅くなるから入寮したのですが、通学時間が 1 時間くらいかかっていたのでとても楽になりました。

ー将来、この会社をどのようにしていきたいですか？

我々のような中小企業は無くならない。カギは人材の育成だろう。時代の需要があるから、時代に対応できるように育てなくてはいけないと考えている。

ー是非とも、後輩に一言を！

機械加工が汎用機から NC 機に時代が変わったように、時代が変化していくから、変化する時代に対応した技術を身に付けてほしい。

また、（中小企業は現場が全てだから）技能検定など、新しいことに挑戦してほしい。

ー工場長を退任したら何をやりますか？

卓球は続けるが、金がかからないことをやる。元々、研究者になりたかったという思いがあるので、勉強で時間をつぶしたいし、英語もやりたい。



事務所にて

（背景の額は社員の技能検定の一部）

ー取材を終えて

私の同級生にも、堀さんと同じように宿命を受け入れ、家業の町工場を継いで頑張っている友人がいます。彼も人材、資金不足の問題を抱えながら、自汗、油にまみれて日本の産業を支えています。

日本の製造業は大企業を頂点としたピラミッド構造で成り立っていますが、どこまで末端の町工場のことを考えてくれているのか分からない時もあります。先日も日産系の大手部品メーカのマレル（旧カルソニックカンセイ）の ADR がうまくいかず民事再生となりました。この会社の下にぶら下がっていた町工場の運命ってどうなったのか、考えるまでもないのでしょうか。一方、トヨタさんは、価格は厳しいが末端までの段取りはしっかり考えてくれている、ということを各務原のトヨタ系ダイカスト部品メーカの常務さんから聞いた事があります。世界での強さの違いかもしれません。

茶所鉄工所さんに加工をお願いしている会社に在籍している者として、そんなことを感じた取材でした。

（文責：15 期生 中尾）

中国で30年！ 退職して・・・ 帰国して・・・

西村省三（7期生）

1973年（昭和44年）皆様と同じ（20歳）で卒業し、新東工業に入社。同期では故・山崎宏君と村手雅子（旧姓：山本）さんの3名が入社しました。夫々別々のグループ会社に配属され現在に至っています。

私は当初、設計・開発担当でしたが、学生時代の過大な知識を振り回して口うるさかった事から2年後に営業（東京）へ転勤となり、それ以降は営業畑の人間に変わって行きました。

1983年に、希望していた海外営業に配属が変わり大きな転機になりました。当時、円高が進み各社ともに海外進出が加速していました。新東工業も台湾・韓国・タイ・シンガポールに生産工場を設立し、そのスタッフ及び現地でのテストマーケティングを担当するため長期出張が続きました。中国への進出は、0からFS（Feasibility Study）を任された結果、現地の責任者（総経理）として赴任する事になった次第です。これが、1993年の事です。

それから約30年間に中国との事業に携わってきた次第です。

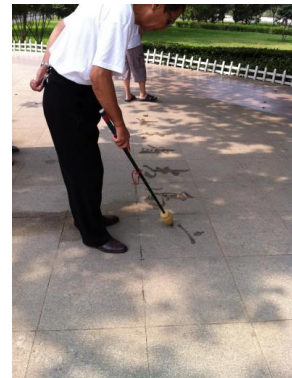


人生の半分を中国で過ごし、第二の故郷になったわけですがリタイアして人生を振り返る意味でこの原稿の依頼をきっかけに思い出を書いてみようと思います。数回に分けて投稿するつもりです。

中国・青島（チンタオ）あれこれ記 その1

みなさん、中国での有名なビールのブランドをご存じでしょうか？それは青島（チンタオ）ビールです。中国山東省青島市で1903年に製造が開始されました。当時は青島がドイツの租借地だったのでドイツの租借地経営の一環としてドイツの技術で製造されたのが始まりです。前置きが長くなりましたが、私は平成が始まったばかりの1990年にその青島市で海外拠点の工場を立ち上げ、工場の運営、販売支援をした10年間とそしてその後、再駐在し8年間に現地で生活しました。その間に中国では香港返還、鄧小平死去（X-Day）、二重通貨制度廃止、そして現在の習近平体制成立など中国が大きく変貌していく様子を現地で目の当たりにしました。最初に赴任したころは市内には馬車が走っていました。そんな青島で見聞きしたスポットを紹介していきたいと思います。





教会のある古い町並み

歴史的にはドイツが統治して出来た街です。その後、日本が統治し神社や中学校が残る街でもあります。また、街の中心には中山公園（中国の何処の街にも中心に同じ名前の公園があります）また、青島には桜の木が沢山あり、日本と同じようにシーズンには花見客で賑やかなスポットの一つです。中華人民共和国が成立後はロシアからの技術を導入した設備が多く、当時あった国営企業のレベルでした。我々日本人はハンディカラオケを持ち込んで宴会を盛り上げ、中国側の技術者はロシア民謡を歌いながらお互いの接点を探していました。現在も古い町並みは観光の街として保存されながら、近代的な街並みは別の場所に建設され、新旧が共存する街となっています。社会主義国家の中国には居住区の各所に公園がありました。その中では、太極拳や社交ダンス更には街頭テレビを使った野外カラオケが行われていました。公園内の道路（タイル？）を利用して水を使って習字の練習をしている男性がいました。現在のデジカメ同様どれだけ練習しても紙が必要なく面白いやり方だなあと感じていました。残念なのは記録としては残らないという事です。

食べ物にびっくり

中国人は（足のあるものは椅子以外を）何でも食べると言われていたのでいろいろな物は食べて来ましたが、この写真の皿に盛られているのは「蟬の蛹（さなぎ）」です。幼虫から蛹になったらばかりのが一番栄養があり美味しいと言われ食べさせられた料理です。日本でも蜂の子を食べる事を思えば同じだとは言うものの口にいれて噛みのみ込むまでに時間がかかりました。他にも、ゆで卵と思って殻をむくと中からヒヨコになった状態が出てきた物を食べるなど、びっくりさせられる食べ物が続々です。南の広州へ行けば、レストランの入口は野生動物園ではないかとおもうばかりです。更に驚いたのが、このネギです。長さが2m近くあります。道端で売られている有名なネギです。そのまま食べても甘くて美味しいと言われてかじってみました、やはり味覚の違い（ねぎはネギでした）を感じた一つです。私の工場があった田舎には、農産物で中国一番という物も沢山あり、その大きさや値段にびっくりです。スイカや一般の野菜や果物は日本の1/10位の価格でしたが、ここで紹介している特殊な野菜は日本と



同等位でした。いろいろな物で価値観の違いを感じました。

東南アジアでは何処でもみかける「バッタモン市場」

青島にもあります。とにかく安いというのが売りですが、本当に精巧に真似た偽物です。腕時計、鞆、ゴルフ用品、衣服、スーツケース等など、ランクも色々ですが、最高級のSクラスなら正直本物と何処が違うのかと言いたくなります。ブランドメーカーの工場が中国にあり2つの流通ルートで商品が販売されているのではと疑いたくなる商品ばかりです。中国は世界の工場と言われている訳で、まんざら本当の事ではないかと今でも思っています。当時日本から応援隊が来ると必ず立ち寄り日本への土産を調達していました。当初例えば、¥1,000 の物が最後には¥200 になる醍醐味がこの買い物の楽しさではないでしょうか。



何処の国にもある強いお酒「白酒」

中国に仕事に来て一番泣かされたのが度数60～70度の「白酒（パイチュウ）」です。日本でもそうですが、事業の交渉事では節目節目に宴会を行い、お互いの気分を和らげ明日の活力にしたり、その場で決断したりと重要な場面で登場するのがお酒です。特に中国の白酒は、乾杯＝完杯となり10人/1テーブルで競争する戦いの様でした。最近では、車社会となり以前の様に強要はされなくなったものの、田舎に行くと未だにこの習慣が残っています。普通白酒は庶民が飲むお酒として安い物が多く¥200～300/瓶ですが、写真で紹介しているのは、180,000 元/瓶＝¥3,600,000 もする白酒です。



最後は近代都市として生まれ変わる中国

青島は歴然と旧街並みと近代都市が区分された街です。特に2008年の北京オリンピック開催時にポートレースを行う場所として近代都市が整備されました。国営で古い大きな造船所を移転させて出来た新たな街です。



我が家の菜園

我が菜園ではこの7月に入ってからトマトやキュウリの夏野菜がぼちぼち穫れ始めて、今やトマトなどは毎朝ボウル1杯程も収穫ができるようになっています。そんな訳で今朝も顔を洗った後、ボウルを抱えてトマトの畝に行き、葉をかき分けて熟れた実を摘むべくしゃがんでみたところ、土の上に青い実や赤い欠片が散らばっているのが目に入り、すわカラスの仕業かと思いつつ、つぶさにチェックしてみると、畝を覆っている黒マルチのフィルムにいくつもの足跡が点々と残されていました。それは見覚えのあるテンのものです。

去年の8月、棚作りしていたブドウが何者かに食害されて、その正体不明の害獣との攻防で、数回防御ネットを張り直して、何とか残る60%程を収穫することができたということがありました。その後11月になって、日中に柿の木に登って実をかじる小動物を見つけて、撮った写真からそれがテンであることが判明し、ブドウの食害も同一犯と断定した次第です。そんな訳で今年もそろそろぶどう棚に防御ネットを張らなくてはと思っていた矢先のことです。私としてはブドウに加えて、空中栽培している小玉スイカの方もちょっと心配していたのですが、トマトにまで手を出してくるとは些かの驚きを感じています。

本荘 豆（1期生）



ペツタリと足跡を残しています。
指が5本で大きさが4cm程ある
ことからまずテンに間違いなし



今朝、食害されていたトマトさん。 青いものまで手を出すなよ！

午後から早速ホームセンターに出向いてネットを調達し、トマトの畝をぐるりと囲んで、残った分で小玉スイカのツルにも被せてみました。これで収まってくれればいいのですが、引き続きの攻防戦を余儀なくされるかもと心配しているところです。

森林クラブやグランドゴルフ等の屋外活動に出てみると、このところマスクを付けている人が圧倒的に少数になりつつあり、いささか驚いています。長期にわたる抑制の反動で、コロナ規制の緩和にすっかり気が緩んでの行動が、このところの感染者数の急増をもたらしていることは間違いなく、私自身今一度細心の注意を払いながら、この夏を凌ぎたいと思っています。



囲う前に、食べられずに残っていた分を収穫

7月初めから穫れ始めた夏野菜。
短いキュウリは“半白きゅう太郎”で、
糠漬けがいただけます。



こんな感じで囲ってみました



空中栽培の小玉スイカの方の囲いもこんな感じです。

お願いですからもう手を出さないで！！

我が家の菜園の筆者紹介

フルネームは 本荘 昱（あきら）さん、1期生です。

プロフィールは（本人より）

1968 年卒 フジフィルム入社

写真フィルム・オーディオカセット・フロッピーフロッピーディスク用
生産設備の開発・導入に従事

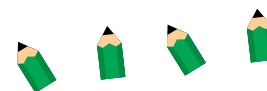
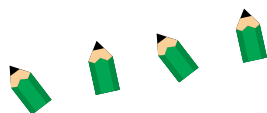
1988 年 京都製作所に転職

大手メーカー向け食品・医薬品・光磁気ディスク等の組立機・包装機の
技術開発・統括に従事

2016 年 現役引退

2018 年 技術顧問として復帰し現在に至る。

2012 年から滋賀県大津市に在住しており、ちょっと広めの庭で野菜・果樹を作って
暇つぶしをしています。



編集後記

編集委員

6M 太田哲也



40 周年の記念式典が無事に開催されることを願っています。また、多くの OB の方に参加してもらうのが目的です。同じ学び舎で過ごした共通の話題で盛り上がりましょう。コロナの鬱陶しい気分を発散させましょう。

9M 若井征伯



編集委員としては何もできないまま今回も終わりました。3 年ぶりのタイ旅行が、コロナとさる痘でピンチになっています。8/10 からなので、どうするか悩ましいところです。

9M 熊田 進



M&E&A ゴルフコンペで誘っていただき、今回から編集に携わらせてもらうことになりました。就職して 30 年間、長崎の工場に勤めてきました。今は桑名に住んでいます。九州のことはお任せください。よろしくお願いします。

1 5M 中尾賢治



近所の河川敷に、戦前から私の祖父母や父母が耕していた畑があります。私の代になって 3 年は作物を作っていましたが、そこも最近では耕作放棄地になってしまいました。（自分もそうですが）耕作放棄地には最近ではソーラーパネルを並べて、太陽光発電所になっているところが多いです。でも思うんです、耕作放棄地は本来耕作すべきなんじゃないかと。

2 4M 山田 実



令和 4 年度入学の機械工学科志願者数は前年度よりも回復しましたが、学校全体では減少し、コロナ禍前の 4 分の 3 まで落ち込んでいます。やはり岐阜高専を知ってもらう広報活動が十分できなかったのがひとつの原因かと思います。一度落ち込むと回復には時間がかかりますが地道に活動していきます（今年は 10 数回、小中学生向けのレゴ教室やります。）

5 2M 小林 光希



今年も高専祭が開催されるみたいですね。元装飾部長としては、活動が続くことは嬉しい限りです。『黎明』という前向きなスローガンも今の時代にピッタリです。せっかくなので、この場をお借りして、今年のハッシュタグを使わせていただきます。#れいめいいね

編集委員 募集 !

機関紙作成の協力していただける方を募集しています。原稿の校正、記事の構成が主な作業です。発行前に打合せをします。主にメールで作業しています。

興味のある方は太田までメールください。 tetsuya-ota@core-cprp.jp

発行日 / 2022 年 7 月 28 日

責任者 / 飯沼義徳

発行 / 岐阜工業高等専門学校機械工学科同窓会「機巢会」編集室
〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑 2 2 3 6 番地 2

TEL 058-320-1343

FAX 058-320-1349

<http://gifu-nct.com/>